

口永良部島における二酸化硫黄放出量

口永良部島において、2008年11月30日～12月1日にCOMPUSSを用いた二酸化硫黄放出量の計測を行った。12月1日に測定された二酸化硫黄放出量の平均値は、10月28日のほぼ倍となる約240 ton/dayとなっている（図1）。計測回数は11月30日が24回、12月1日が14回で、12月1日の平均放出量は前日（11月30日）の約50%増となったが、最大放出量はほぼ同じである。

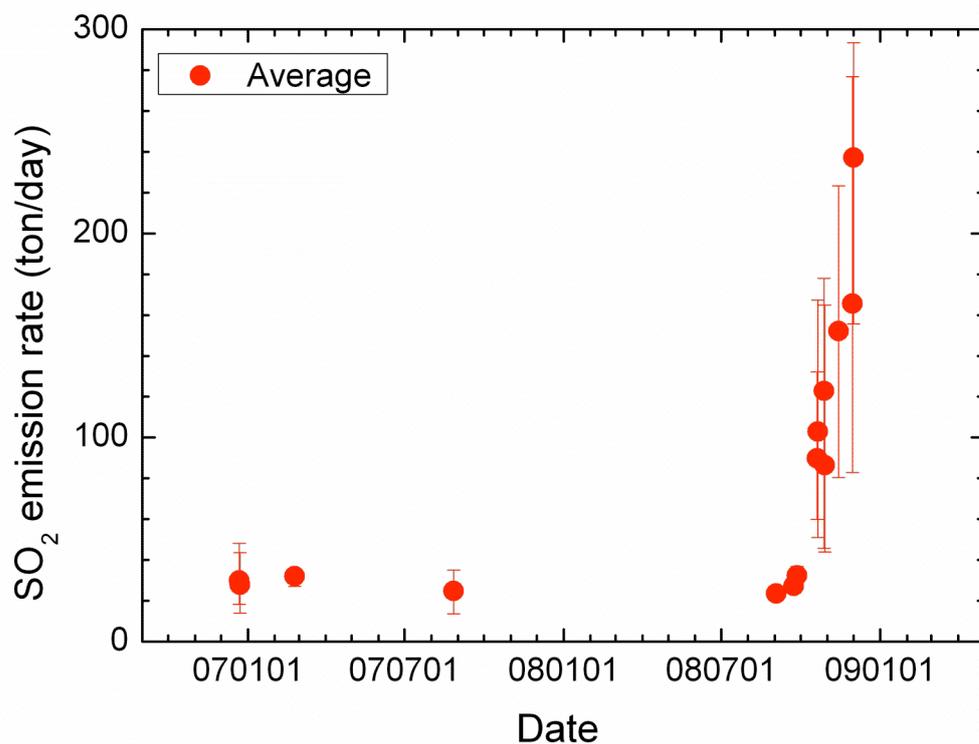


図1 2006年以降の口永良部島（新岳）からの二酸化硫黄放出量
放出量は全てトラバース法によって計測されている